

令和6年度大学陳情結果報告

全国商業高等学校長協会大学入試対策委員会

私立大学陳情結果報告

大学名	面会者(役職)	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
神奈川大学	みなとみらいキャンパス 入試センター入試事務部 部長・次長	商業高校出身者は商業科目にかかわる基礎的な知識が身につけており、優秀な学生が多い。 商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等について、2026年度入試から全商特別推薦の導入を考えたい。全商主催の競技会等の結果を追加する方向で検討したい。 学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについて、25年度共通テストについては「情報Ⅰ」を導入し、点数化を行う。総合型選抜について、志願者の業績(検定・ビジネスコンクール表彰等)について点数化を検討していく。 商業からの入学者に対しての入学後の対応等について、商業高校出身者には履修なくとも会計学の単位認定を行っている。
神田外語大学	アドミッション&コミュニケーション部 アドミッションチーム チーフ	商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等について、指定校推薦、公募制推薦、全商特別推薦を実施している。 全商特別推薦で入学した学生はビジネスキャリア専攻に所属し、簿記を必須として学ぶ。 ビジネスキャリア専攻の所属に変更予定はない。
関東学院大学	学長 アドミッションズセンター センター 課長・課長補佐	商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等について、指定校推薦、全商特別推薦での入学者については優秀な学生が多い。前向きな学生が多い。商業科目にかかわる基礎的な知識が身につけている。 出願要件の変更を検討したい(評定平均値を本学から出している指定校の平均値に近づけたい。ハードルを低くする)。今後、出願要件に商業科教員を目指す人など追加を検討。 また、全商主催の競技会等の結果を追加する方向で検討したい。 25年度共通テストについては「情報Ⅰ」を導入し、点数化を行う。 総合型選抜について、志願者の業績(検定・ビジネスコンクール表彰等)について点数化を検討していく。
國學院大學	総合企画部・入学課 課長・主任	全商特別推薦の生徒は、モチベーションが高く、学力的にも問題はない。また、探究学習にも意欲的で、目的意識の高い生徒が多く、教授からの評価も高い。 総合型選抜入試(AO入試)の出願者数[R4:900名、R6:1800名]は、近年、特に増加の傾向がある。 指定校推薦は、商業関係高校も含め、これまでの実績によりお願いしているが、目的意識の低い生徒が受験するケースがある。 全商特別推薦は、継続(現状維持)の予定である。 総合型選抜入試(AO入試)は、出願者増加に伴い、募集定員数の増加も含め検討している。 商業科目(簿記等)は設定したい思いはあるが、労力がかかるため入試科目としておらず、今後も変更予定はない。 全商特別推薦枠について、募集人数(6名)の増員を要望した。 「観光まちづくり学部・観光まちづくり学科」への推薦枠の新設を要望した。なお、商業教育との関連性等も踏まえ、教授会へ提言していただくことの理解を得た。 Bグループ(英語検定試験2級以上合格)の推薦条件は、必須である。
駒澤大学	入学センター入試課 課長補佐	全商特別推薦、商業高校の指定校推薦による入学者の入学後の成績は概ね良好である。 GPA数値は高く、留年する学生の比率も低い。 高校生の時に検定取得に取り組んだ成果が試験を受ける準備や姿勢がしっかりとできている。 商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等については、現状維持の予定である。
専修大学	商学部・教務部 次長	全商特別推薦からの入学者は、入学後の成績はおおむね良好である。これまで同様に継続を考えている。 入試時期が例年より1週間遅れて実施する予定である。 近年、入学を希望する生徒は関東地区の生徒である。関西や九州地方の生徒も本学に関心を持ってもらえるといい。

大学名	面会者(役職)	商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等
千葉商科大学	入試センターオフィス 入試セクション課長	学部改変に伴い、全学部にも全商特別推薦を導入した。入学後の学生の成績を確認して、人数の変更の可能性はあるが、全学部導入の現状を変える予定はない。 指定校推薦、公募制推薦における資格ポイント制。特別推薦として全商推薦。共通テストでは簿記を入れていた。個別試験では、商業科目の試験はない。今後も変更の予定はない。 ※2025年度に現行の5学部7学科の編成を4学部6学科に変更する。 【現行】 商経学部(商学科・経済学科・経営学科)、政策情報学部、サービス創造学部、人間社会学部、国際教養学部 【2025年度】 商経学部(商学科・経営学科)、総合政策学部(経済学科・政策情報学科)、サービス創造学部、人間社会学部
中央大学	商学部事務室 副課長2名	指定校推薦、全商特別推薦での入学者については優秀な学生が多い。前向きな学生が多い。商業科目にかかわる基礎的な知識が身についている。 今後も英語力を担保とした形態は維持していくが、Bグループに固執してはいない。できれば、Aグループで対応したいと考えている。そのために、出願条件として全商英語検定ではなく、ステップ英検2級を条件でも検討したい。 25年度共通テストについては「情報Ⅰ」を導入し、点数化を行う。総合型選抜について、志願者の業績(検定・ビジネスコンクール表彰等)について点数化を検討していく。 商業科教職課程は今後も維持していく。
東京経済大学	総合企画部 入試課長 入試委員長	商業からの入学者は、真面目な生徒が多い。 全商特別推薦は、A・Bで設定している。商業高校出身の生徒は真面目なので今の状況を維持していきたい。 入試科目として、日商2級を持っていれば合格できるような仕組みを作っている。 Bについてはやはり英語が大事である。少子化の影響もあるので将来的に検討していく必要性を感じている。 経営学部での教員免許状は今後取ることができない。
獨協大学	入試部入試課 課長	全商特別推薦の生徒は大変優秀で学業にも意欲的であり、今後も期待している。 全商特別推薦として経済学部にも8枠設けている。全商特別推薦の条件として英語検定は外せない。 指定校として全国に600校程度を指定している。 総合型選抜(自己推薦)で5～6名程度合格している。 【出願基準】 日商簿記2級以上またはITパスポート、基本情報技術者、全商簿記・情報処理・英語・商業経済各1級のうち3種類以上取得。 【選考方法】 英語の筆記試験(英込Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)と日本語による面接。 学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについて、大学入学共通テストに簿記と情報関係基礎が無くなり、商業系の生徒にとって厳しい状況であることは理解しているが、変更予定はない。 商業からの入学者に対しての入学後の対応等については、昨年同様に、経営学科で必修の「簿記原理」等の履修は免除。英語の授業はTOEICの点数で5ランクに分けて授業を実施。英語サポートルームの設置、英語の自学自習用ネットコンテンツの提供を行っている。 全学部対象に公認会計士養成講座(受講料¥44,000)も開講している。
日本大学	教務課入試担当 商学部准教授	商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜や学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについては、すでに要望書等は受け取っており、全商協会から要望について承知しているが、特に変更の予定はない。 全商特別推薦で入学している生徒に特段の課題などは把握していない。
法政大学	入学センター入試課 課長代理、主任	商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等について、推薦枠いっぱいに応募していただきありがとうございます。特に変更等の予定はない。 全商特別推薦で入学している生徒に特段の課題などは把握していない。
武蔵大学	アドミッションセンター部長 担当者	全商特別推薦で入学した学生は、主体的に学ぶ意識が高いうえ礼儀正しい。また、教職員からの評価が高く、大学としても期待が大きい。 R7年度入試から各学科1名増やした。(各学科2名の募集) 学力試験における入試科目としての商業科目の扱いについて、令和7年度以降「総合的な探究の時間」科目の位置づけを含め新教育課程に準じた扱いとなる予定。
明治学院大学	入試インフォメーション科 担当者	(全商側)商業科の教員になるための講座は引き続き擁してある。 商業関係高校生に対する推薦入学制・特別選抜等について、希望している生徒が多いため、学校ごとに出している指定校枠でいつも余っているようであれば全商の方の枠にも回してほしいとの要望を伝えた。 (今後の対応)大学側は3月までに話し合い、次年度の入試の形を決めていくため、3月に電話をし、確認する。